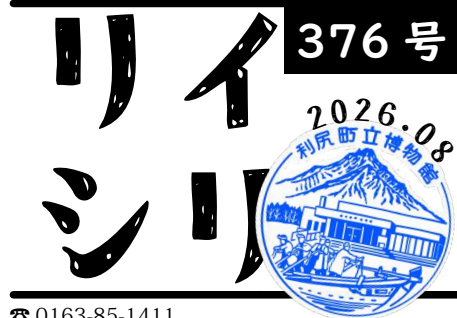


博物館だより



☎ 0163-85-1411

✉ rishiritownmuseum@town.rishiri.hokkaido.jp

〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙志志本町 136

8/29 磯の生き物観察会

利尻島の海岸は利尻山から流れ出た溶岩で作られた岩礁（磯）です。磯には岩の凹凸を利用する動物、岩そのものの上に固着する動物や藻類、海藻をすみかにする動物など、多種多様な生物が生息しています。また、利尻島にすむ海の生き物たちは、北からのリマン海流と南からの対馬海流の影響を受けていることがわかっています。北海道やロシアの沿岸域と共通する北方系の種が生息しているのは、利尻が北に位置していることから想像できるかもしれませんが、南からの対馬海流の影響により、南方系の種も報告されているのは、学芸員の私もびっくりしています。今後、気温や水温の変化によって、生息する生物も変化していく可能性があり、博物館では継続的に観察会や記録、標本の作製を行い、どんな生物が生息していたかについて、記録を残したいと考えています。



磯の生き物観察会では、杓形岬の磯にすむ小さな生物たちと一緒に探し、観察します。リシリコンブやウニ類だけではない、利尻の多様な海の生き物を探してみませんか。

【事業名】磯の生き物観察会【日時】

8/29（土）9:00～10:30。雨天・

悪天の場合は中止いたします。【場

所】杓形岬キャンプ場付近の海岸。

【集合場所】杓形岬キャンプ場 駐

車場。【持ち物・服装】長靴や胴長

などの水に濡れてもよい履物でお越

しくください。ただし、サンダル等は

ケガの危険があるので避けてくださ

い。タオルのほか、ケガ防止のため、

ゴム手袋や軍手、長袖・長ズボン等

の肌が露出しない服装でお越しくだ

さい。また、生物採集のための割り

ばしやスクレーパーなどの採集用具

もご持参ください。【申込】8/27(木)

まで。博物館にメールまたはお電話

にて、(1)お名前、(2)前・当日つなが

る電話番号をお知らせください。中

止の場合にご連絡いたします。定員

は 10 名程度を予定しています。

9/5 池の生き物観察会

6 月に雨天で中止になってしまった池の生き物観察会が、9 月に時期を移してリベンジです。

森林公園には小さな人口の池があります。トンボ類やゲンゴロウ類などの水生昆虫、エゾアカガエルなどの目で見える動物たちはもちろん、ミジンコのなかまなどのような肉眼ではどんな形か見えないような小さな動物など、様々な生き物が棲んでいます。本州では水田やため池のような人口の環境と周辺の湖沼などの水域で生息する生物種が異なってい



る例も知られており、森林公園の池も、近くの沼などとはまた違った生き物が生息している可能性もあります。この観察会では水中に生息する水生昆虫やプランクトンなどの採集と観察を行います。小さな生き物については顕微鏡やルーペを使って、実際に動いている様子なども観察する予定です。池の中の生き物たちの暮らしをのぞいてみませんか。

【事業名】池の生き物観察会【日時】

9/5（土）9:00～10:00。雨天・

悪天の場合は中止いたします。【場

所】利尻町杓形・森林公園（池の森）。

【集合場所】森林公園 駐車場。【持

ち物・服装】長靴など濡れてもよい

靴でお越しくください。タオルのほか、

お持ちの方はたも網などの採集用具

をご持参ください。【申込】9/3(木)

まで。博物館にメールまたはお電話

にて、(1)お名前、(2)前・当日つなが

る電話番号をお知らせください。中

止の場合にご連絡いたします。定員

は 10 名程度を予定しています。

9/19 仙中ボランティア

博物館の重要な役割の一つに「資料の保管」があります。しかし、保

8月・9月の開館カレンダー



◀ 休館日等についてはこちらでご確認ください。

管のためのスペースは限られているもの。そこで、博物館では2019年から旧仙法志中学校を資料保管のために利活用しています。この事業では、普段見ることのできないバックヤードを見学しつつ、「博物館の裏方作業」を、皆様に少しだけお手伝いしていただきます。貴重な資料を未来に残すため、皆様のお力を少しお貸しいただけませんか。

【事業名】博物館資料を仙中に見よう！～旧仙中校舍資料見学とボランティア活動～【日時】9/19(土) 9:30～11:00。【場所】旧仙法志中学校。【集合場所】旧仙法志中学校 駐車場。【持ち物・服装】作業用の軍手。埃をかぶったり、屋外作業もあるため、清掃に適した汚れてもいい服装でお越しください。【当日の流れ】軽いオリエンテーション後に資料見学を行い、清掃や資料整理などを行います。【申込】9/17(木)まで。博物館にメールまたはお電話にて、(1)お名前、(2)前・当日つながる電話番号をお知らせください。中止の場合にご連絡いたします。定員は10名程度を予定しています。



事業報告 ライトトラップ観察会

7月17日夜、仙法志中学校グラウンドを会場にライトトラップ観察会を行いました。当日はオオミズアオを始めとした大型の蛾のほか、ミ

利尻へのクマの上陸はおおよそ100年に1度程度の頻度なので、もうしばらくは来ないと信じたいですが果たして・・・？

りしりよもやまばなし 利尻四方山話



◀この爪に関する文献はこちらからダウンロードできます！

その8 ヒグマの爪

博物館では8月31日まで、令和8年度宗谷管内巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」を行っています。当館では利尻への2度のヒグマの上陸のうち、1度目の1912年の際に採取されたヒグマの爪を展示しています。これは、島出身の方が代々保管していたものですが、2018年の2度目の上陸の時の報道をきっかけに情報が寄せられ、当館にご寄贈いただきました。巡回展を見にいらした際には、ぜひ合わせてご覧ください。



ヤマクワガタのメスやヒメコガネなどの甲虫もやってき

て、ライトは大盛り上がりとなりました。参加者の方々も、普段目にすることがない夜行性の虫の多様性や生態と、集まってきた虫の個体数の多さに驚きを隠せない様子でした。初めての実施で不安もありましたが、ご参加いただいた皆様のおかげで無事に終えることができました。

事業報告 外来種防除会 Part2

7月25日に利尻富士町甘露泉水への遊歩道にて、外来種「コバノハイキンポウゲ」の防除会が行われました。当日は15名の方にご参加いただき、コバノハイキンポウゲ934本を抜くことができました。また、新たに侵入が疑われるコナスビが周囲で確認されたため、防除を行い、

731本を抜くことができました。今までの防除会の成果で、コバノハイキンポ



ウゲの分布範囲はだいぶ狭まってきているようでした。今後も皆様とともに利尻の自然を守っていければと思いますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします！

掲示板

資料寄贈 ▼タオル1点(津田商店・銘酒 Bar Tecchi)、7/27。▽貴重な資料のご寄贈、まことにありがとうございます。

傷病鳥 ▼マヒワ、7/28、沓形神居。▽貴重なサンプルのご提供、まことにありがとうございます。いただいたサンプルは今後標本化の予定です。

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか過去2年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ぜひご利用ください。ネット環境が無い方、メールでの受け取りが出来ない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

編集後記 夏は事業が多く、紙面がいっぱいで編集後記のスペースが…